

本のむし

掲示版

2018年10月16日発行

編集 図書委員会 広報班

皆さんこんにちは！図書委員広報班です。
遅くなりましたが、本のむし掲示版第2号を発行します！

さて、図書委員会は学園祭で「チャリティ古本市」を行いました。毎年好評のこの企画、今年もH3Eを占拠お借りしてパワーアップ！台風接近による時間変更などありましたが、募金総額は**¥22,948**となりました！ご協力くださったみなさん、この場を借りてお礼を申し上げます。



中学生のおすすめ本

『武士道シックスティーン』

作者 誉田哲也 913/ホ

3歳から剣道を始めた宮本武蔵オタクの香織と、中学から剣道を始めた早苗が中学最後の大会で対戦するも、香織は負けてしまう。そんな二人が高校で再会してしまった…字も大きく読みやすいので、中1にもおすすめです。



『よるのばけもの』

作者 住野よる 913/ス

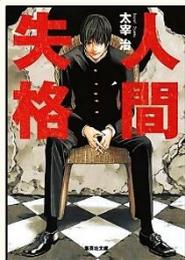
夜になるとばけものになってしまう僕とひとりぼっちの少女が二人だけです。ごす時間「夜休み」のお話です。中学生に人気の小説「君の隣をたべたい」の作者の作品です。



『人間失格』

作者 太宰治 913/ダ

これは、ある男の人生のお話。「恥の多い生涯を送ってきました」そんな身もふたもない告白から始まるそれは、人間の美しさと醜さを私たちに教えてくれます。文学作品にチャレンジしてみたい人へ、おすすめの作品です。

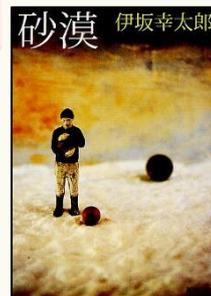


高校生のおすすめ本

『砂漠』

作者 伊坂幸太郎 913/イ

なにごとにも冷めた青年が4人の変わった学生と出会う。一瞬で過ぎる学生時代の瑞々しさと切なさを描いた物語。読み応えあり。



『窓ぎわのトットちゃん』

作者 黒柳哲子 913/ク

誰も知ってる、黒柳徹子さんの幼い頃のお話。自由が丘にかつて存在し黒柳さんが通っていた、トモエ学園を舞台にした笑いあり涙ありのノンフィクションです。



『ギャシュリークラムのちびっ子たち』

作者 エドワード・ゴッリー 726

世界的なカルトアーティストのエドワード・ゴッリーが、子ども達が恐ろしい運命に出会う様をA~Zまでのアルファベットに走馬灯にのせて描いています。日本語で読んで面白いです。英語で読んでみるのも面白いですよ！



山田美奈都先生

まずオススメする本は『16歳の語り部』です。東北の震災で被害にあった高校生達が、「当たり前」の日常が目の前で破壊された体験について語る本です。3年前、東北研修旅行で実際に彼らの話を聞き、私達も変わらなければいけない…と強く感じました。

『みんなの学校』(著・木村泰子)は、教育者としてとても尊敬している人の本です。「学校は誰のためにあるのか?」と問いかけ、教師や保護者中心ではなく、子どもたちを主軸とした教育へと変革を行った、大阪の小学校について描かれています。

『100の思考実験』(著J・バジーニ)は、表紙の「あなたはどこまで考えられるか?」というコピーに惹かれて読みました。確実に一人を救うのか、不確定だがより多くの人を救うのか?という有名なトロッコ問題をはじめとして、哲学的な問いをわかりやすく解説してくれます。

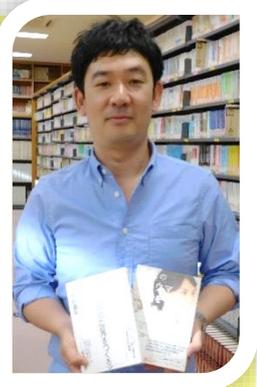


小林勇輔先生

僕のオススメは『茶色のシマウマ、世界を変える』(著・石川拓治)です。それまで日本に無かった、全寮制のインターナショナルスクールを作った女性の話です。社会や日本の教育に一石を投じるために、様々な人々が想いを共にし、行動し続けた記録は私に勇気をくれました。

『ぼくらの仮説が世界をつくる。』(著・佐渡島庸平)もオススメです。作者は、『宇宙兄弟』『ドラゴン桜』などのヒット作の編集者で、独立シコルクという会社を立ち上げました。ネット時代のエンタテインメントについて考える1冊です。モノやコトの見方を変えること、人生を楽しむこと、誰かではなく自分の人生を生きること…そんなことを考えさせてくれる本です。

マンガでも本でも、実際に人が書いていることを意識すると良いと思います。実際に本の作者に会いに行き話と聞くと、またその作品のイメージが変わりますよ。



先生の オススメ本

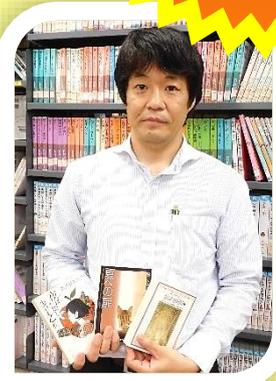
福士隆和先生

オススメはトルキンの『指輪物語一ふたつの塔』です。映画「ロード・オブ・ザ・リング」の原作ですね。ホビット族の若者が魔王を倒すため「ひとつの指輪」を火山に投げに行く旅の物語です。魔法やエルフなどの種族も出てくるファンタジーで、ラノベ好きの方にもおすすめ。

『夏への扉』(著・ハインライン)は主人公が騙され全てを失い、復讐のために70年代から未来に行くSFです。猫がとても可愛くねこSFともよばれています。

森見登美彦さんの『夜は短し歩けよ乙女』も好きです。京都で下宿する大学生が、町を歩きながら奇妙な出会いと別れを繰り返していく話です。最初は難しいですが、だんだんと引きこむ幻想的な魅力があります。

僕のスマホの中には500冊ほど本のデータが入っていて、そのうち300冊がマンガ、200冊がラノベや小説ですね!その人の描く世界を感じたいので、本やマンガを読むことが大好きです。



委員のおすすめ DVD

『美女と野獣』

監督 ビル・コルドン(2017 アメリカ)

ディズニーの長編アニメーションの「美女と野獣」の実写リメイク作品。ベル役のエマ・ワトソンがとにかくかわいいです!原作を見たことのない人でも楽しめる作品になっているので是非一度観てみて下さい!



委員のおすすめ CD

『ハウルの動く城 サウンドトラック』

スタジオジブリの作品「ハウルの動く城」の劇中で流れていた音楽が全て入っています。聞くだけで映画のシーンがうかんできます。ジブリ好きの人や久石譲さんの音楽が好きな人も、そうでない人も是非聞いてみて下さい。

